

大黒屋光太夫記念館 令和6年度特別展について

1 名 称

吉村昭「大黒屋光太夫」をめぐる旅 - 史料から紡がれる世界 -

2 趣 旨

ロシアに漂着し帰国した最初の日本人として知られる大黒屋光太夫の数奇な運命は、これまで小説や漫画、映画、ドキュメンタリーなど多くの作品に取り上げられてきましたが、その中で特に有名なのが井上靖『おろしや国酔夢譚』と吉村昭『大黒屋光太夫』です。

今回は、吉村昭がライフワークの一つとした「漂流」という事象にまつわる作品の数々を紹介するとともに、小説『大黒屋光太夫』の各場面から神昌丸一行の漂流の特異性や物語性を取り上げ、改めてその魅力を伝えます。特に、若年層に裾野を広げられるよう、わかりやすい展示と親しみやすい広報に努め、史料からいかに小説世界が紡ぎ出されるのか、歴史と文学の楽しみを伝えられる展示とします。

3 会 期 令和7年1月23日（木）～3月16日（日）

開館 10:00 / 閉館 16:00

休館日：月曜日（休日の場合は開館）・火曜日・第3水曜日

4 会 場 大黒屋光太夫記念館 展示室（約160平米）

〒510-0224 三重県鈴鹿市若松中一丁目1-8

TEL・FAX 059-385-3797

URL <https://www.city.suzuka.lg.jp/shisei/shisetsu/1004346/1010132/1004366.html>

5 入場料 無料

6 主 催 鈴鹿市

7 助 成 公益財団法人 岡田文化財団

8 展示構成（予定）

* 吉村昭と『大黒屋光太夫』

- ・津村節子氏寄贈原稿を中心に作品の紹介（ハイケース1）
- ・「小説『大黒屋光太夫』の執筆」の原稿
- ・パネルにて吉村氏の業績を紹介

* 『大黒屋光太夫』でたどる光太夫の旅

- ・北槎聞略/附図・漂流記・極珍書・漂民御覧之記等の資料と共に代表的な場面を紹介する。（ハイケース1、2 覗きケース）

9 配布物 パンフレット B5版24ページ 500冊

【問合せ】 鈴鹿市文化スポーツ部 文化財課長 大窪

文化財課 学芸員 代田（展示担当者）

電話 059-382-9031